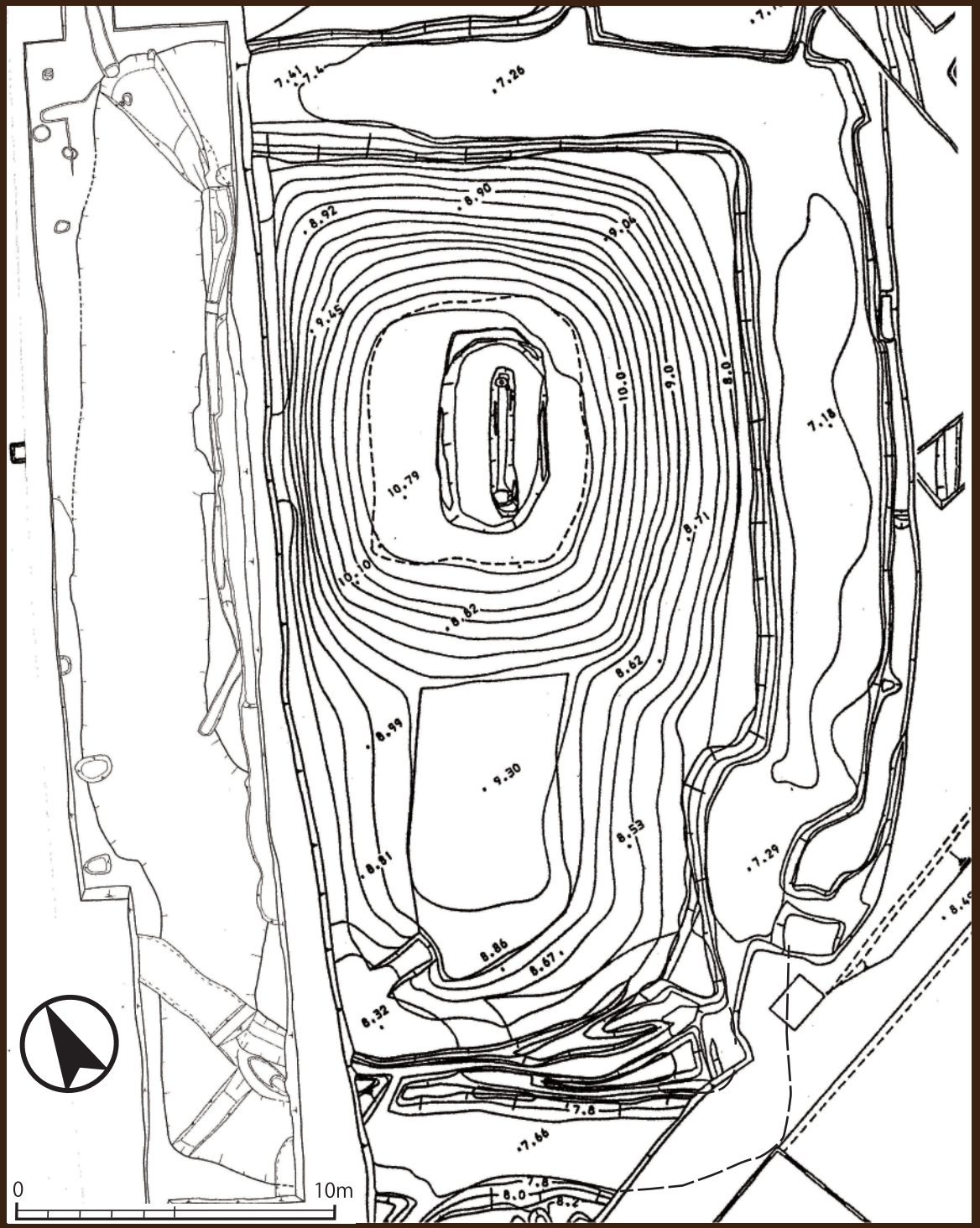
さかもとこふんぐん
坂本古墳群
１号墳

金銅装頭椎大刀のＸ線写真
先端には大刀の切先が見えます。

発掘された１号墳
（後方部中央にある埋葬施設に葬られていました）

埋葬施設
奥に須恵器、左側に金銅装頭椎大刀、右側に鉄刀が供えられていました。人物の位置は推定です。

金銅装頭椎大刀
（長 105cm）



発掘調査後の１号墳　墳丘測量図（S＝1/200）

概要

■古墳の形と大きさ
前方後方墳、全長 38m、
前方部高さ 2.6m、後方部高さ 4.2m

■葬られていた人
不明（古代斎宮の成立に影響を与えた人物か）

■供えられていたもの：
金銅装頭椎大刀、鉄刀、須恵器

特徴

１号墳はこの時期にはほとんど造られることのない前方後方墳という特別な形で、棺内に供えられていたものは、金色に輝く金銅装頭椎大刀でした。

金銅装頭椎大刀は、当時の技術が結集されたもので、長さは 105cm もあり、大刀を入れる鞘は、３重の漆が塗られた上に金銅（銅の金具を金で飾ったもの）の金具で飾られ、大刀を持つ握りの部分には銀製の線を巻き、見た目を重視した飾り大刀です。

１号墳に葬られていた人はこの地域の王様のような存在であり、当時の最高権力である大和朝廷（奈良県にあった）とも密接な関係を持っていたことがわかりました。このような人の存在が、坂本のすぐ南に、斎宮寮という国家的な組織が造られるきっかけになったのかもしれません。